

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
保育所等訪問支援 こんべいとう		2026年 2月 23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		前回の評価結果から改善出来ていなかったものもあるため、今回の結果を受け、業務改善を行うよう、調整を行います。	訪問が最優先になり、結果として保護者への情報共有が後回しになっていた。保護者への情報共有は、最優先で行わなければならない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		関連する学会などを精査し、必要と思われる研修には積極的に参加した。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		2		基本的に訪問は職員一人で行っているため、チームでの支援という形にはなっていません。ただ、関係事業所との連携を行い、大きな枠としてのチーム支援を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2	管理者と訪問内容について報告・振り返りを行っています。	訪問後、気になった様子や気づいた点については、計画相談事業所さんと共有、相談をさせていただいています。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の現状や取り組みを確認の上、支援行うよう心がけています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		特に現状が落ち着いてきているお子様については、訪問の必要性について、計画相談事業所と検討し、終了の時期について、保護者の方に相談させて頂いています。	第三者である事業所が見に行くということに安心感を持ってくださっている保護者の方もいること、お子様の課題が流動的に変わっていくことで、支援の終了についてずれが生じることがあります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		訪問している職員が必ず参加させて頂くようにしており、業務の都合上参加が難しい時は、書面で訪問時の様子や支援について共有させて頂くようにしています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		訪問先職員だけに留まらず、必要に応じて、教育委員会、発達支援室、計画相談事業所、ご利用されている放デイ、医療受診されているお子様については、受診同行を行い、医療とも連携できるよう努めています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		移行されるお子様については、必ず事前に情報共有を行い、支援が移行からすぐに行えるように事前訪問を行い、情報共有を図っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		2	医療受診をされているお子さんや、定期的にご連絡させていただいている保護者の方とは共通理解が図れていますが、ご連絡の頻度が下がってしまっている保護者の方とは、共通理解が弱くなっている現状があります。	どの保護者の方とも、定期的に共通理解を図れるように、面談等を定期的に設定し、共通理解を図れるようにしたいと思います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2	職員体制が薄く、そこまでの設定を行えていません。	保護者の方からご希望があれば、今後、情報提供や研修の機会を作れるようにしたいと思います。